

1 学期終業式にあたって

校長 森 武晴

令和6年度1学期が本日で終了します。皆さん、どのような1学期だったでしょうか。1年生は島農生となり、中学と違うこと、新しいことばかりで、戸惑いがたくさんあったと思います。その中で、島農生としての自覚はついたでしょうか。2年生は、1年の時の反省や中堅学年での意欲のもとに、充実した学期を過ごすことができたでしょうか。3年生は、最高学年として、体育祭、高校総体、県連大会、野球の選手権などに取り組み、満足、納得のいくものを残せたでしょうか。

一学期を振り返ってみますと、

学期始まって1か月後の体育祭。短い準備・練習期間でしたが、3年生を中心に、学科のまとまりを深め、立派な感動する体育祭を島農生全員で成功に導いてくれました。

高校総体では、開会式での素晴らしい堂々とした行進に始まり、出場した選手全員が、練習の成果を、そして、それぞれの力を十分に出し、ベストを尽くしてくれました。

また、本校が事務局として開催した農業クラブ県連大会では、運営や準備でとても忙しく、発表や競技の練習・準備の時間が取れない状況でしたが、出場した生徒の皆さんが、それぞれ頑張り、他校に引けをとらない素晴らしい結果を残してくれました。そして、開催校として、素晴らしい運営を行ってくれました。参加いただいた皆さんにも多くのお褒めの言葉をいただきました。

先日の野球選手権においても、体調不良があり、試合直前にやっとメンバーがそろい、万全のコンディションで試合にのぞむことができなかったと思いますが、「和して勝つ」の気持ちを持って、最後まで、島農魂を見せ、プレーしてくれました。

このように、1学期、多くの成果をあげてくれました。1学期の始業式で皆さんに示した「感じて・感動・感謝」、すべきことを感じて動く感動をして感動をした結果だと思えます。1学期は終わりますが、2学期以降も、なすべきことを感じとって行動・「感動」をして、感動をつかんでください。

事務室前のモニターの前に、この写真を掲示しています。

これは、広報しまばら6月号に載った農業ビジネス科3年生の皆さんの写真です。素晴らしい表情です。この素晴らしい笑顔、表情は島原市のほとんどのお宅に届けられました。島原市の古川市長も、「島農生のこのとびっきりの笑顔、地域の財産」だとこの広報の中で言われています。

この表情・笑顔は、何から生まれていると思いますか？

農業ビジネス科学科主任の金子先生は、先日の学校説明会で、「この表情は、2年間の学びでの「自信」から出ています」とおっしゃっていました。



「自信」とは、「自分自身の価値を信じること、自分自身を信じること」。「自信」は知識や経験から作られ、それが基となり、その人の考えや行動に大きな影響を与えます。「自信」を持つと成功の確率が上がり、心に余裕ができ、メンタル、心が強くなります。ですから、この写真の3年生のような表情になるのです。

今月26日から、パリオリンピックが始まります。このオリンピックに出場する選手の皆さんは、3年間の努力で技術・体力を高め、そのことで「自信」をつけ、メンタルを高め、大舞台にのぞみます。

明日から、夏休みとなります。3年生は、進路実現に向けて、最終段階となります。就職試験、受験に臨みます。希望の進路を叶えるため、これまでの島原農高での学び・経験を「自信」としてメンタルを強め、余裕をもって試験に臨んでもらいたいと思います。しかし、まだ、そこまで、自分には「自信が、、、??」と不安な人もいるでしょう。明日から始まる夏休みの期間に、試験対策、面接練習をしっかりと積んで、自信をつけてください。

また、今月31日に行われる農業クラブ県連大会農業鑑定競技、8月7日の九州大会に出場する皆さん、残された時間、しっかりと準備・練習をして、「自信」をつけて、大会に臨んでください。2年生、1年生の皆さんも、これから、秋の新人戦をはじめ、いろいろな大会、行事があります。島農での学び・経験・体験をさらに積み、「自信」に変え、これからの学校生活を送ってもらいたいと思います。

島農生全員が、自分を信じ、自信をつけ、明るく、笑顔あふれる余裕の表情で毎日を送れるよう、そして、自分の描く進路をつかめるよう島農での学び・体験・経験を有意義なものにしてください。

以上、1学期の総括と自信を持つことの大切さについて話をしました。

休業中は、授業日と比べ、時間があります。部活動、学習など、自分磨きの時間をつくってください。当然のことながら、暑さが続きます。生活も不規則になります。体調管理に努め、2学期始業式には、島農生全員が元気に集えるよう願って、1学期終業にあたっての校長訓示とします。

令和6年7月（1学期終業式 校長訓話）